

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【公開番号】特開2000-62323(P2000-62323A)

【公開日】平成12年2月29日(2000.2.29)

【出願番号】特願平11-158572

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/323 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/18 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月17日(2006.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体並びに実質的に非感光性の有機カルボン酸の銀塩、それと熱作用関係にあるそのための還元剤および少なくとも1種の蛋白質系結合剤を含有する感熱性要素を含んでなるサーモグラフィ記録材料であって、該感熱性要素が該感熱性要素中の該蛋白質系結合剤に関して700 ppm～5 ppmの間の非フルオロ-ハライドイオンを含有しそして該サーモグラフィ記録材料が実質的に水を含まない条件下で熱により現像可能であることを特徴とする材料。

【請求項2】

1種もしくは複数の該蛋白質系結合剤が700 ppm～5 ppmの間の非フルオロ-ハライドイオンを共に含有する請求項1に記載のサーモグラフィ記録材料。

【請求項3】

1種もしくは複数の該蛋白質系結合剤が100 ppmもしくはそれより低い濃度でアルカリ金属イオンを共に含有する請求項1または2に記載のサーモグラフィ記録材料。

【請求項4】

該感熱性要素がさらに感光性ハロゲン化銀を含有する請求項1～3のいずれかに記載のサーモグラフィ記録材料。

【請求項5】

実質的に非感光性の有機カルボン酸の銀塩の水性分散液を製造し、該実質的に非感光性の有機カルボン酸の銀塩の水性分散液、還元剤および少なくとも1種の蛋白質系結合剤と一緒に含有する1種もしくはそれ以上の水性コーティング組成物を製造し、そして該1種もしくはそれ以上の水性コーティング組成物を支持体に適用し、それにより乾燥後にサーモグラフィ記録材料を形成する段階を含んでなる、請求項1～4のいずれかに記載のサーモグラフィ記録材料の製造方法。